

高齢者の住まいで働くあなたのためのACP ～関わる人の気持ちを尊重する方法～第2版

A dvance

話し合う
タイミングが
難しいなあ…

C are

認知症が進んで、
本人の意向が
なかなか聴けな
いけど…

本人と家族の
意向が違うけど、
どうしたらいい
かなあ…

P lanning

本人より家族の
意向が優先され
てるけど？

このリーフレットは、高齢者の住まいで働くあなたが、本人の意思を最大限に尊重した意思決定支援の実現のためにどのように関わればよいか、基本的な考え方や取り組みについて事例を交えて作成しております。本人や家族等との話し合いにご活用下さい。

このリーフレットは下記のURLから印刷することもできます。

人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）について
<https://www.pref.kagoshima.jp/ab13/acp.html>

鹿児島県 高齢者生き生き推進課



アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の定義

アドバンス・ケア・プランニングとは、必要に応じて信頼関係のある医療・ケアチーム等の支援を受けながら、本人が現在の健康状態や今後の生き方、さらには今後受けたい医療・ケアについて考え(将来の心づもりをして)、家族等と話し合うことをいいます。

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の目的

本人が自分で意思決定することが困難になったときに、将来の心づもりについてこれまで本人が表明してきた内容にもとづいて、家族等と医療・ケアチーム等とが話し合いを行い、本人の価値観を尊重し、本人の意思を反映させた医療・ケアを実現することを目的とします。
(宮下他「日本版アドバンス・ケア・プランニングの定義」2022)

将来の心づもり



これまでの人生を振り返りながら、これからを思い描く



現在の健康状態と、これから予想される健康状態について理解する



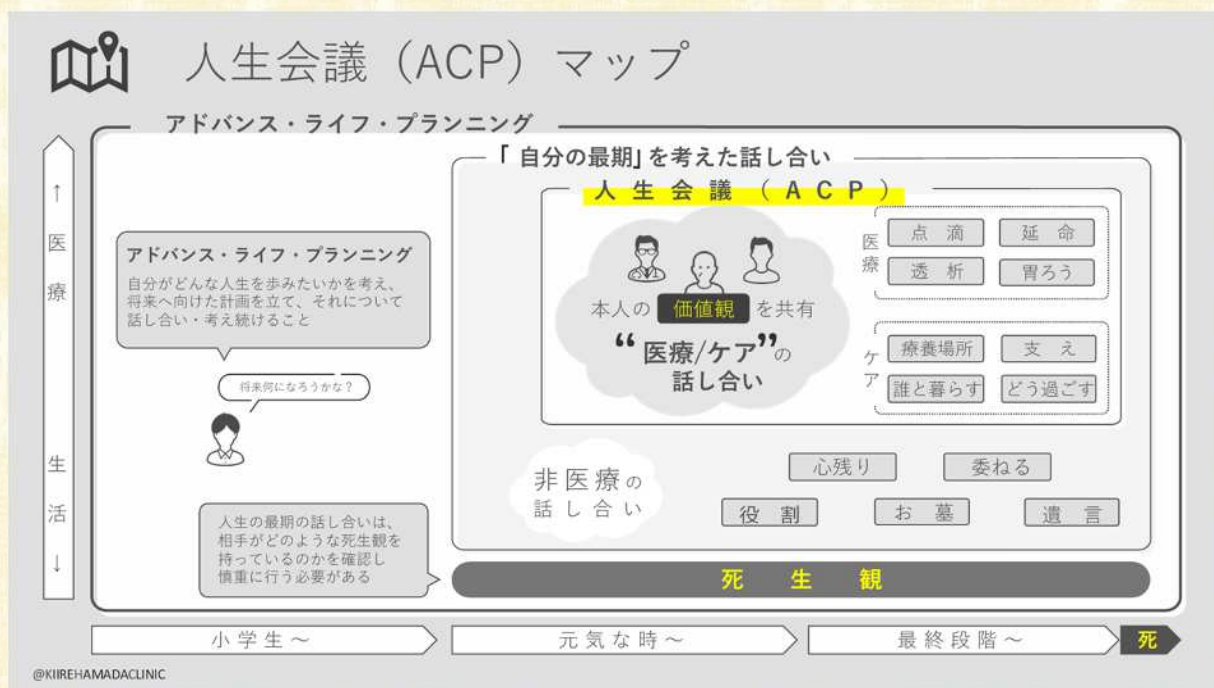
だれと、どこで、どのように過ごしたいか思い描く



して欲しい医療・ケア、して欲しくない医療・ケア



自分で意思決定することが困難になった時の代弁者



P1
基本的な
考え方

最期の一瞬まで、人生の主演は「本人」
本人の人生を知り、本人と共に話し合っていきましょう

●話し合いを始めるタイミング～無理強いせず、その人に合ったタイミングで

*ACPの話し合いは本人への負担が生じることがあります。

本人や家族の様子を見ながら進めていきましょう。

(話し合う時期の例)

(話し合う内容の例)

介護保険申請時
ケアプラン作成時



- 本人が大切にしてきたことや楽しみ、親しい友人のことなど、今の暮らしの様子を関心をもって、本人から教えてもらいましょう。
- 過去・現在・これからを行き来しながら聴いてみましょう。

居宅サービス
利用時



- 本人の語りや様子などの中から「その人らしさ」「その人の大切にしていること」などに耳を傾けましょう。

施設に入居した時
入居の面談時



- 好きなこと、大事にしていることなど、本人の話しやすいことから本人の思いを知るようにしましょう。
- 万一来て、希望する医療・ケアについての考えやそのように考える理由について聴きましょう。

日々の暮らしの中
の、何気ない会話
の一つ一つから



本人との何気ない世間話の中に、人生の物語、価値観、大切にしていること、譲れないこと、気がかり、目標などが表出されることがあります。そのような時を見逃さず、ちょっと踏み込んで聴いてみましょう。

例：「なぜ、そのように思うのですか？」

病状が変わった時
急病などで体力・
身体機能に変化が
あった時



- 身体状況の変化をどのように理解し、受け容れているのか、これから希望する医療・ケアについて聴いてみましょう。
- 本人の意向の判断が難しい場合は、家族・つながりのある人と万一来て、本人のこれまでの暮らしや思いをくみ取れるようチームで話し合いましょう。

P2
話し合い
を重ねる

繰り返し話し合いを重ねましょう～意向は変わるものです

*ACPの話し合いは、決めることが目的ではありません。

本人の意思を最大限尊重しながら、繰り返し話し合うことが大切です。

●ACPは対話を重ねて進めていきます

[対応で大切なポイント]



- 話しやすい雰囲気づくりを意識しましょう。
- なれなれしい態度ではなく、礼儀正しく丁寧な言葉で話しましょう。
- 関係者が伝えたいこと聞きたいことではなく、本人が話したいことを優先しましょう。
- つらそうな反応や言動があれば、感情への対応を優先しましょう。
- 今後について、具体的なイメージが持てるような情報提供や話し合いをしましょう。
- 「話したくない」「いまは話す気分でない」という気持ちも尊重しましょう。
- 本人を中心に考えて、双方で納得のいく点を見出していくことが大切です。

日々の会話の一つ一つ、その会話の積み重ねこそが「その人の思いを紡ぐACP」

●認知症のある方や意思表示が難しい方も本人の意向を把握し続けましょう

- 決定する力が低下していても、「人として尊重」して関わりましょう。
- 認知症だから、意思決定する力がないと決めつけずに、話を聴いてみましょう。
- 本人の反応は何らかの意味があります。表情や表現から、本人の気持ちや状態をくみ取りましょう。
- 話したことを忘れることもよくあること。発せられる言葉や表現をメモしておきましょう。
- 言語表現ができない状態の時、常に本人が望んでいたことを再確認すること、痛みや不快・苦しんでいる様子はないか観察し、嫌だという意思表示は特に尊重しましょう。



目線を合わせて
頷きながら聴く



ゆったりとした
雰囲気です本人の
気持ちに寄添う



日常の触れ合い
の中で共感的に
語りを聴く

●ACPを重ねていくことは家族のケア（グリーフケア）にもつながります

- 家族も本人と共に大切な時を重ねています。
家族の感情にも注意を払い、感情表出ができるように関わりましょう。
- 家族が心身ともに安定していれば、本人への介護やケアも安定します。
- 本人と家族の意向が違う場合、双方の思いを話しあい、本人の意向を中心に、折り合いをつけられるよう、一緒に話し合いましょう。《本人が中心》
- ACPを通して本人の意思が尊重されることで、家族（遺族）の満足度が高まるという報告があります。
- 家族には、本人を大切に思う役割と代弁者としての2つの役割があります。本人の意思が確認できない時、次のように声かけをして話し合いましょう。



「ご家族としては、どのようなお気持ちでしょうか？」

「ご本人は、どのようにお考えだと思われますか？」

P3
対話の
ポイント

動画で学ぶACP～鹿児島県公式ホームページ「人生会議」より

鹿児島県では、一般県民や高齢者施設職員等の専門職に理解を深めていただくことを目的に、動画を制作し、県のホームページで公開しています。各コンテンツ約10分程度の動画となっております。



一般県民向け動画

- 人生会議とは
「人生会議とは何か」「元気な時・病気になった時・家族が病気になった時のACPの進め方」について紹介
- 錦江町高齢者生き生きサロン～在宅医療講話～
住民向けにACPの普及啓発を行っている肝属郡医師会立病院の取組（錦江町高齢者生き生きサロンでの講話）を紹介

専門職向け動画

- 高齢者施設での人生会議の進め方
「入所面接」「状態悪化」「多職種カンファレンス」の場面において高齢者施設でどのようにACPを進めていけば良いか検討するためのミニドラマ
- 高齢者施設の事例
高齢者施設で看取った家族と高齢者施設で過ごし最期を自宅で看取った家族のインタビュー
- 在宅医療の事例
訪問看護を活用しながら最期を自宅で看取った家族のインタビュー

<動画はこちらからアクセスください>

鹿児島県HPトップ> 健康・福祉> 地域包括ケア> 在宅医療・介護連携> ACP普及啓発動画について

(URL) <https://www.pref.kagoshima.jp/ab13/acpdouga.html>

<本動画に関する問合せ先>

鹿児島県高齢者生き生き推進課地域包括ケア推進係 (Tel) 099-286-2701



●多職種・多施設連携～本人を真ん中につなぎましょう

*各職種間の役割やお互いの認識・価値観の違い等について相互理解を深めましょう。
多職種・多施設間のコミュニケーションもとても大切です。

Point1 施設内の多職種で情報を共有しましょう

- 職種や関わる場面によって本人が語る内容が違うこともあります。
- 施設の中の多職種間で情報を共有し、本人の理解を深めましょう。
- 話し合った内容は、カンファレンスやノートなどを活用して記録し、スタッフ間で共有していきましょう。
- 施設から他施設につなぐ際は、代弁者として本人の意向をつなぎましょう。



関係する施設間で、本人・家族の願いを共有しましょう

Point2 地域で、連携する多施設で共有していきましょう

- 在宅医療・病院・施設間で、本人を中心に連携を深めましょう。
- 高齢者施設入居前に関わるかかりつけ医や在宅ケアチームは、入居前の早い段階から話し合いを進めて、施設につなぎましょう。
- 病状が悪化したり、急病などで入院する場合は、高齢者施設や在宅ケアチームなどでの日ごろの本人の様子や、本人らしさや本人が大切にしていること等を積極的に入院先の医療チームへ伝えましょう。
- 何を決めたかではなく、どのような思いで決めたのかのプロセスを関係者間で大切にし、本人の思いを紡いでいきましょう。



思いを紡ぎ、地域をつなぐ

取り組みの事例・参考資料の紹介

- 1 厚生労働省 人生の最終段階における意思決定支援 事例集
<https://www.mhlw.go.jp/content/10802000/000623552.pdf>
- 2 令和元年度 厚生労働省老人保健健康増進等事業 高齢者住まいでのACP実践の手引き
https://www.iri.co.jp/file/column/opinion/detail/20200410_theme72_2.pdf
- 3 一般社団法人日本老年医学会 ACP事例集
https://www.jpn-geriat-soc.or.jp/proposal/acp_example.html
- 4 鹿児島県医師会「私の思い」ACPパンフレット
鹿児島県医師会在宅医療推進事業（以下のURL）からダウンロードして下さい。
<https://kagoshima-zaitaku.jp/news/news/112-acp.html>
- 5 令和4年度 鹿児島県高齢者施設等看取り実態調査報告書
https://www.pref.kagoshima.jp/ab13/documents/83213_20230426090622-1.pdf
- 6 令和5年度 鹿児島県ACP普及啓発動画
<https://www.pref.kagoshima.jp/ab13/acp.html>

